

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 八田小中學校
南アルプス市立 八田小学校



大望の鐘

【学校教育目標】 豊かな心を持ち かしく たくましい 子どもの育成

令和3年12月10日 NO.12 校長 笹本 学

児童会役員選挙に取り組んでいます

今、学校では12月16日に行われる児童会役員選挙に向けて取り組んでいます。12月2日に立候補の受付が行われ、会長に5年生3名、副会長に5年生4名、4年生5名が立候補し、8日から選挙運動を始めています。

各立候補者はこれまで児童会活動を引っ張ってきた6年生の取り組みをさらに発展して、すばらしい八田小学校にしようと、「笑顔あふれる学校」、「みんなが楽しいと思える学校」、「おたがいがおたがいを高め合い、支え合える学校」などという公約を掲げ、朝の時間や休み時間を活用して、熱心に選挙活動を行っています。

それぞれのめざす学校像は多少違いますが、12人もの人が児童会活動を頑張っていこうと決意したことは、とてもすばらしいことだと思います。選挙活動を通して、自分の考えをしっかりと伝えるように頑張してほしいと思います。

また、選挙規定により投票できるのは3年生以上になりますが、児童会活動をさらに充実させるためには、誰にリーダーを任せ、どのような取り組みが良いのかしっかりと考えて投票に臨んでほしいと思います。

選挙活動が盛り上がり、みなさんの児童会活動への意識がさらに高まることを期待します。

石丸午郎氏に関する本が寄贈されました

みなさんは、「石丸午郎(ごろう)」氏を知っていますか？石丸氏は1906年に現在の南アルプス市榎原で生まれ、甲府中学(現甲府第一高等学校)在学中にスケートと出会い、その後、選手、指導者として活躍した方です。特にフィギュアスケートの指導では全国に名が知られており、日本男子で初めて世界選手権で銅メダルを獲得した佐野稔さ



ん(山梨県出身)も指導を受けました。また、国際審判員としても活躍し、世界選手権や欧米の大会で審判を務めました。1972年に行われた札幌オリンピックでも審判員を務められています。

今回この本を寄贈して下さった方は、今では多くの人に知られ、国際的にも活躍する選手が出ている日本のフィギュアスケート発展のために頑張ってきた石丸先生の功績を多くの人に伝え残したいという考えでこの本を作成したと言っていました。

校長先生もこの話を聞くまでは知りませんでした。この地域にこんな素晴らしい方がいたことを知り、改めてふるさとのすばらしさを感じました。

図書館に本が置いてあります。みなさんも一度、読んでみてください。

ドローン教室が行われました！

12月10日に、5年生を対象に「ドローン教室」が行われました。

このドローン教室は、南アルプス市にある山峡商会さんが、これからの社会で活用が進むであろうドローンについて知ってもらおうと市内の小学校で実施しているものです。

今回は、最初にドローンの仕組みや活用方法について説明がありました。ドローンを飛ばすためには厳しい決まりがあること、撮影や荷物を運ぶ以外にも測量や点検、農業や林業でも活用が進められているという話がありました。話の中では、事前に撮影した八田小学校給食棟の映像も見せていただきました。



その後、運動場に移動して「マビックミニ」という機種 of 操縦をさせていただいたり、上空で撮影している映像をGoogleで見たりする体験をさせていただきました。日常生活の中ではなかなか見ることができない上空からの映像に子どもたちは歓声を上げたり、初めて体験するドローンの操縦に戸惑ったりしていましたが、貴重な体験ができたと思います。

林社長さんは、「ドローンの活用はまだはじまったばかりなので、人の豊かな生活と自然が共生できる社会づくりのために、有効的に活用する方法を子どもたちが考えてほしい」と話していました。